

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2024年10月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2024年10月9日～10月31日
- 調査対象 200社
- 回答企業 130社
- 回収率 65.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 仕入単価：(下落) - (上昇)

販売単価：(上昇) - (下落) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の10月の状況を見ると業況DIは、前月より2.6ポイント改善の▲21.6となった。

2017年9月以来86ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3カ月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲24.6、当月と比べ3.0ポイントの悪化が見込まれる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2024年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 2024年11月～ 2025年1月
業況	▲22.2	▲35.3	▲24.4	▲18.7	▲24.2	▲21.6	▲24.6
売上	▲25.7	▲19.6	▲17.8	▲12.3	▲18.8	▲13.1	▲22.3
採算	▲25.7	▲35.4	▲27.4	▲24.5	▲25.0	▲24.6	▲31.5
仕入単価	▲65.0	▲64.6	▲61.5	▲57.6	▲60.9	▲66.9	▲53.8
販売単価	26.4	36.0	35.6	31.0	27.3	34.7	22.3
従業員	35.0	35.3	31.8	31.7	31.3	31.6	33.1
資金繰り	▲12.2	▲17.3	▲11.9	▲13.0	▲15.6	▲13.1	▲13.1

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2024年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 2024年11月～ 2025年1月
建設	▲25.8	▲50.0	▲35.5	▲35.5	▲29.0	▲29.0	▲22.5
製造	▲25.7	▲42.4	▲29.4	▲22.8	▲36.7	▲25.0	▲31.3
卸売	▲3.3	▲17.3	▲20.7	3.2	▲3.4	▲15.4	▲23.1
小売	▲30.0	▲38.1	▲20.0	▲21.0	▲16.6	▲16.7	▲22.2
サービス	▲29.2	▲27.3	▲9.6	▲17.4	▲35.0	▲17.4	▲21.7

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	・工事受注量は昨年並みだが、資機材・下請施工費価格の高騰により利益率は低下している。来年度においても建設資材価格の大幅な高騰の情報が出てきている。（総合工事） ・継続的に工事の需要に合うだけの対応ができず、人材不足を常にかけている。（設備・その他） ・大工の退職者及び休職者による人員不足の発生とそれに伴う工期のずれ込みによる売上の落ち込みが懸念材料である。来春の内定者がいない状況から大工の中途採用を検討するとともに、賃金の引上げなどの待遇改善や完全週休二日制導入など福利厚生の充実による大工の定着化を図ることが今後の課題である。（建築業）
製造業	・輸出が戻り始めたことや国内市場も価格改定前の水準に戻りつつあり、数量的にはコロナ禍前まで回復。ただし原材料価格や人件費・光熱費の上昇が大きく、全て価格転嫁できていないことから採算面は厳しい。（食料品） ・主力商品原材料である「昆布」「鮭」の漁獲量が激減し、価格高騰だけではなく原材料そのものが無い状況である。年末商材またギフト商品に影響を及ぼす。（食料品） ・印刷需要の減少と資材の高騰で厳しくなっている。（印刷・出版） ・食料品の度重なる値上げにより、一般消費者の食品以外の購買意欲がかなり落ちていていると感じる。政府の給与引き上げには賛同できる部分もあるが、まずは企業の収益が改善しなければ社員への給与の改善も出来ない。（家具・木材）
卸売業	・例年度と同等の実績であるが、経費の増加などに対応していかなければならない。（機械鋼材） ・当月の業績は前年同期に比べ微増に推移。弊社 12 月が決算月で事業もすでに 3/4 を終え、現在決算見通しを精査している。直近の累計売上げは、前年を上回るも年初に策定した事業計画よりやや下回る数字に着地するものとみている。10 月に最低賃金が変わったことから管理費の増加は必至であるも経費の見直しにより十分吸収できる範囲である。（その他）
小売業	・10 月に入り衣替え(秋物衣料)に入れ替わるシーズンだが気温が高く夏服で日中は過ごすことが十分できるよう。気温が下がると秋冬物商品を求め来店客が増える。気温に応じて店内レイアウトを変えお客様の購買意欲を高める。（衣服身回品） ・前年競合閉店の影響一巡。更に新競合出店により客数減少と販売点数の減少。（食料品） ・観光客がコロナ前のように増えていると感じるが、扱っている商品が全体的に値上がりしたため、なかなか購買に繋がらないと感じる。（その他） ・10 月は展示会開催による売上の増加と中古車市場の活況による粗利の増加により、業績は前年より好転する見込み。しかし毎年年末にかけて売上が落ち込む状況が続いており、年々営業費が増加している背景を考慮すると今後は厳しいと考える。（自動車）
サービス業	・エネルギーコストの高止まりが原因で売上げが過去最高を記録しているのにも関わらず利益につながらない。また、スキマバイトの普及により、ある時間帯ではスタッフ不足になる。（理美容・クリーニング） ・相変わらずエネルギー費や人件費の上昇。販売単価を上げる以外方策見つからず。（ホテル・旅館） ・予定していなかった民間の大型案件を受注したことにより、今年度の受注目標は達成見込みである。（その他） ・先々月より引き続き人手不足。特定の技術が必要とする職人の高齢化もあり、労働時間の短縮。今後は経験や専門的な知識の業務を若手に繋げていくことが課題になると思われる。（飲食） ・燃料価格の変動が不安要因とはいえ、足元の業績は回復基調堅持。借入返済資金負担は相変わらず暖房手当・賞与等資金のやり繰りが苦しい状況。（運送）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	売上 DI6.5 ポイント改善、採算 DI9.7 ポイント悪化、仕入単価 DI 横ばい、販売単価 DI0.1 ポイント悪化、資金 DI3.3 ポイント悪化、従業員 DI3.3 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は横ばいとなった。業種別では、建築業 22 ポイント悪化、総合工事横ばい、設備・その他 19 ポイント改善となった。元請からの見積り金額が折り合わず、なかなか決まらないため当分は不変のままとの声も寄せられている。
製造業	売上 DI10.8 ポイント改善、採算 DI5.6 ポイント改善、仕入単価 DI5.5 ポイント悪化、販売単価 DI7.8 ポイント改善、資金 DI1.9 ポイント悪化、従業員 DI7.7 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 11.7 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、食料品 39 ポイント悪化、印刷・出版 10 ポイント、家具・木材 18 ポイント、金属窯業他 49 ポイント改善となった。人手不足は好転しているが、原材料・エネルギー価格等、価格転嫁がなければ厳しくなっていくと思われるとの声も寄せられている。
卸売業	売上 DI21.5 ポイント悪化、採算 DI6.9 ポイント改善、仕入単価 DI13.7 ポイント悪化、販売単価 DI15.5 ポイント改善、資金 DI6.6 ポイント改善、従業員 DI12.7 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 12.0 ポイント悪化となった。業種別では、機械鋼材 10 ポイント改善、繊維・衣服等 50 ポイント、食料品 17 ポイント、その他 13 ポイント悪化となった。灯油の仕入値は、小幅に上下を繰り返しているものの販売価格は現行のまま据置との声も寄せられている。
小売業	売上 DI11.1 ポイント悪化、採算 DI22.1 ポイント悪化、仕入単価 DI5.6 ポイント悪化、販売単価 DI11.1 ポイント改善、資金 DI 横ばい、従業員 DI5.5 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 0.1 ポイント悪化となった。業種別では、自動車 42 ポイント改善、衣料品横ばい、食料品 17 ポイント、その他 13 ポイント悪化となった。仕入原材料の値上げが今後収益の足かせとなるとの声も寄せられている。
サービス業	売上 DI47.4 ポイント改善、採算 DI20.6 ポイント改善、仕入単価 DI5.2 ポイント悪化、販売単価 DI5.5 ポイント改善、資金 DI18.2 ポイント改善、従業員 DI6.5 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 17.6 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では理美容・クリーニング、飲食横ばい、ホテル・旅館 20 ポイント、その他 5 ポイント、整備業 33 ポイント、運送 30 ポイント改善となった。売上・宴会・婚礼等の減少との声も寄せられている。